

海洋台帳で複数の座標点入力表示を行う方法メモ

【要旨】

現在の海洋台帳では、メニューバーにある「計測／メモ」の「点入力」タブからの座標点入力による画面上での点表示は1点分のみしか対応していません^{注)}が、以下の操作を行うことで複数の座標点が海洋台帳の画面に表示することが出来ます。


注)メニューバーにある「計測／メモ」の「点入力」タブからの複数の座標点の入力表示については、海洋台帳の機能改修に取り組んでおりますので、将来的には改善されます。

当メモでは、複数の座標点の入力表示と、表示された座標点へのテキスト表示について簡単に説明します。

【事前準備】

- ・表示を行いたい座標点の経緯度の値を準備する。
- ・なお、準備する経緯度は、度単位に変換しておく。
(例) 度 分 秒 度

【海洋台帳の画面上での操作その1：読込ファイルの元になる CSV ファイルの作成】

- ・海洋台帳の画面を表示する。
- ・メニューバーにある「計測／メモ」をクリックする。
- ・表示された「計測／メモ」ウインドウにある「点入力」タブをクリックする。
- ・点入力のウインドウ画面にある「緯度」と「経度」に、画面表示したい点の中の1点のみについて、度単位の緯度と経度を入力する。
- ・点入力のウインドウ画面にある「緯度」と「経度」の下側にある「色」をクリックし、海洋台帳の画面上に表示したい点の色を選択する。
- ・点入力のウインドウ画面にある「緯度」と「経度」の下側にある「」をクリックすると、海洋台帳の画面上に選択した色の点が表示される。
- ・「計測／メモ」ウインドウの上辺にあるフロッピーディスク様の印(カーソルを当てると「グラフィックの保存」と表示される)をクリックし、表示リストの中から「CSV ファイルで保存 (IE8,9 未対応)」を選択する。
- ・画面に出た「CSV ファイルで保存しますか？」に「はい」を選択する。
- ・表示された画面に「ファイル名を入力してください。」とでるので、ファイル名を入力後に「OK」をクリックし、CSV ファイルを保存する。

ファイルの保存場所に係る表示ができませんが、当メモ作成時に Internet Explorer 11 / Windows 7 の環境下での操作では、ファイルは「ダウンロード」ホルダーに保存されました。

- ・海洋台帳の画面での操作は、ここで一時中断。

【エクセルでの操作：読込用 CSV ファイルの作成】

- ・保存した CSV ファイルをクリックし、ファイルを開く。

通常、エクセルでファイルが開かれるが、もし、エクセル以外のソフトで開かれる場合は、エクセルでファイルが開かれるようにする。
- ・エクセル画面で、1行目の左から「緯度」「経度」「分類」「タイトル」「備考」「リンク」「フォント」「ラインスタイル」「ポリゴンスタイル」「カラー」「サイズ」「透過率」「ラベル表示」が表示される。
- ・エクセル画面で、2行目に海洋台帳の画面で入力した点の「緯度」や「経度」等の情報が表示されている。
- ・エクセル画面で、3行目以降で、海洋台帳画面に追加で表示したい点(2つ目、3つ目、4つ目の点)の「緯度」と「経度」を度単位で入力する。
- ・エクセル画面で、3行目以降で、海洋台帳画面に追加で表示したい点(2つ目、3つ目、4つ目の点)の「分類」の列に「ポイント」と入力する。
- ・エクセル画面で、3行目以降で、海洋台帳画面に追加で表示したい点(2つ目、3つ目、4つ目の点)の「タイトル」の列に、上の行と異なる数字を付した「TextSymbol_」(例： 部分は数字、TextSymbol_1、TextSymbol_2、TextSymbol_3)を入力する。

必ず上の行や下の行と異なる数字を付与する(同じ数字を付与しては駄目)。
- ・エクセル画面で、3行目以降で、海洋台帳画面に追加で表示したい点(2つ目、3つ目、4つ目の点)の「フォント」「ラインスタイル」「ポリゴンスタイル」「カラー」「サイズ」「透過率」「ラベル表示」に、上の行に入力されている文字と同じ文字を入力する(又はコピー&ペーストする)。
- ・入力が完了したら、エクセル画面の上辺にある「ファイル」>「名前を付けて保存」>保存先のホルダーを選択し、開いた画面ウインドウで、ファイルを保存するホルダーを確認後、「ファイル名」を入力し、「ファイルの種類」で「CSV(カンマ区切り)(* .csv)」を選択し、「保存」をクリックする。

「CSV(カンマ区切り)」として保存する場合、ブックの一部の機能が失われる可能性があります。この形式でブックを保存しますか？」に「はい」を選択する。

注意：エクセルで保存する時に「上書き保存」は使用しない。上書き保存を使用すると、後々に海洋台帳の画面で上書き保存した CSV ファイルが読み込めなくなる。カンマ区切りされていない CSV ファイルになる場合あり。
- ・エクセルでの操作は、ここで終了。

【海洋台帳の画面上での操作その2：読込用 CSV ファイルの海洋台帳への読込み】

- ・海洋台帳の画面を表示する。
- ・メニューバーにある「計測/メモ」をクリックする。
- ・表示された「計測/メモ」ウインドウの上辺にあるホルダー様の印(カーソルを当てると「グラフィックの読み込み」と表示される)をクリックし、表示リストの中から「CSV ファイルを読み込み (IE8,9 未対応)」を選択する。

- ・画面に出た「CSV ファイルを読み込みますか？」に「はい」を選択する。
- ・表示された画面ウインドウから、エクセルで保存したファイルが格納されているホルダーを開き、エクセルで保存した CSV ファイルを選択し、画面ウインドウにある「開く」をクリックする。
- ・海洋台帳の画面に、データを入力した点が全て表示される。

【海洋台帳の画面上での操作その3：表示テキストの追加】

- ・「計測/メモ」ウインドウで、「テキスト」タブを選択する。
- ・海洋台帳の画面に表示された点の近くに表示したい文字を「テキスト」タブ画面の「テキスト」欄に入力する。
例えば、水深を表示したければ、「テキスト」欄に水深の値を入力する。
- ・次にテキストタブ画面にある「フォント」「フォント色」「フォントサイズ」を設定後、タブ画面にある「A」をクリックし、海洋台帳の画面上でテキスト表示したい位置をクリックする。
- ・海洋台帳の画面で、テキストが表示される。
- ・次に海洋台帳の画面に表示したい文字を、テキストタブ画面で「テキスト」欄に入力し、「フォント」「フォント色」「フォントサイズ」を設定後、タブ画面にある「A」をクリックし、海洋台帳の画面上でテキスト表示したい位置を直接クリックする。
- ・以後、画面でテキスト表示したい分だけ、この操作を繰り返す。

【海洋台帳の画面での操作その4：表示テキストを含んだ読込用 CSV ファイルの保存】

- ・「計測/メモ」ウインドウの上辺にあるフロッピーディスク様の印(カーソルを当てると「グラフィックの保存」と表示される)をクリックし、表示リストの中から「CSV ファイルで保存 (IE8,9 未対応)」を選択する。
- ・画面に出た「CSV ファイルで保存しますか？」に「はい」を選択する。
- ・表示された画面に「ファイル名を入力してください。」とるので、ファイル名を入力後に「OK」をクリックし、CSV ファイルを保存する。
ファイルの保存場所に関する表示ができませんが、当メモ作成時に Internet Explorer 11 / Windows 7 の環境下での操作では、ファイルは「ダウンロード」ホルダーに保存されました。
- ・今後、保存した CSV ファイルを前述の操作によりファイル読み込みを行うことで、海洋台帳の画面に再び複数の座標点が表示される。

【その他】

- ・海洋台帳の画面に表示された、点やテキストを直接右クリックし、表示されたリストから「図形の属性変更」を選択すると、「図形属性の変更」画面ウインドウが開く。
- ・「図形属性の変更」画面ウインドウにある「シンボル設定」タブと「属性の追加」タブを選択することで、画面の点やテキストの次の属性情報を適宜編集できる。

「シンボル設定」タブ：図形色、図形サイズ、フォントサイズ、線種、塗りつぶし
「属性の追加」タブ：タイトル、備考、リンク

【参考】

・海洋台帳の画面で、複数の座標点の表示と、テキスト文字の表示を行った例。

